

26年度 自立支援協議会議事録

| | | | | | | |
|----------------------------|--|-------------------------------|------|-----|----|------------------------|
| 会議 | 部会名 | 第1回 就業支援 部会 | 参加者数 | 32人 | 会場 | 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室 |
| | 日時 | 26年 7月 4日(金) 15:00 ~ 17:00 | | | | |
| 主 題 マ | <ol style="list-style-type: none"> 1 自己紹介を兼ねた各事業所等の概要紹介 2 今年度の取り組みについて 3 県就労支援部会報告及びB型アセスメントについて | | | | | |
| 主 な 意 見 な ど | <ol style="list-style-type: none"> 1 について(参加者全員) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者より、自己紹介と合わせて、持ち寄ったチラシやパンフレット等をもとにそれぞれの事業所の活動の様子や企業における障がい者雇用の取り組みについての説明が行われた。 ・圏域内の事業所の活動や企業の取り組みなどをお互いに知る貴重な情報共有の機会となった。 2 について <ul style="list-style-type: none"> ・小澤部会長より今年度の部会の活動計画案が示され、拍手承認された。 8月 事例検討 10月 販売会・事業所プレゼンテーション 12月 事例検討 2月 まとめ ・B型アセスメントについては、毎回検討することとなった。 ・事例検討の中では、企業が抱える障がい者雇用の課題を集約した上で、事業所の担当者とともに、検討する機会を設けることで、福祉的就労と一般就労双方の情報共有や意見交換の場とすることも了承された。 3 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 県就労支援部会活動報告(きらりあ 北嶋主任就業支援ワーカー) <ul style="list-style-type: none"> ・県就労支援部会の報告が行われ、各圏域におけるB型アセスメントの体制整備を中心に議論されている様子が報告された。 ・質疑等なし。 (2) 就労継続支援B型利用のためのアセスメントについて <ul style="list-style-type: none"> ア B型アセスメント学習会(講師:きらりあ 北嶋主任就業支援ワーカー) <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度以降のB型利用アセスメントがどのようになるのかを、新たに部会に参加された方向けに、パワーポイントを使用して説明が行われた。 イ 学習会を踏まえての意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・上伊那圏域には就労移行支援事業所が2か所しかない中で、B型利用のアセスメントを圏域としてどうしていくかについて話し合いを行った。 ・伊那養護学校からは、高等部の3年生で、B型利用を希望する者は、早い段階で結論が出ないと、学校としてもその後の進路指導の対応が難しくなるといった課題が出された。 ・就労移行支援事業所からは、事業所内の利用者対応、計画相談に加えて、アセスメントまで対応する難しさについての意見が出された。 <p style="margin-left: 20px;">上伊那圏域の現状を十分踏まえつつ、市町村連絡会等とも連携しながら、今年度中には方向性が出せよう、部会としても引き続き検討していくこととなった。</p> | | | | | |
| ま と め | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画について、皆で検討し、活動の方向性を確認することができた。 ・参加した事業所の活動や企業での障がい者雇用の取り組みの様子について、情報共有を図ることができた。 ・圏域のB型アセスメントの課題を議論し、市町村連絡会との連携も視野に引き続き検討することを確認した。 | | | | | |
| 次 回 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月に開催予定。詳細については、後日お知らせする。 | | | | | |

26年度 自立支援協議会議事録

| | | | | | | |
|----------------------------|--|--------------------------------|------|---------|----|------------------------|
| 会議 | 部会名 | 第2回 就業支援 部会 | 参加者数 | 33 人 | 会場 | 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室 |
| | 日時 | 26年 8月 22日(金) 15:00 ~ 17:10 | | | | |
| 主 テ ー マ | <ol style="list-style-type: none"> 1 『B型アセスメント』について 2 事例検討 3 諸連絡 | | | | | |
| 主 な 意 見 な ど | <ol style="list-style-type: none"> 1 について <ul style="list-style-type: none"> ・伊那養護学校における平成27年度以降の卒業生については、障害程度区分3以上の該当者を除き、就労継続支援B型事業所利用希望者は、必ず就労移行支援事業所で所定のアセスメントを受けなければ、サービスを受けられなくなる。 ・圏域に就労移行支援事業所が少ないことから、どのような対応が必要かについて、アンサンブル 小椋氏の試案をもとに、皆で検討を行った。 ・伊那養護学校からは、在校生の進路希望や、在籍児童・生徒の在住市町村別一覧、就労継続支援B型事業所利用までの手順について、合わせて説明があった。 ・養護学校卒業生以外にも、精神障がい者で就労経験がない若者等への対応が必要との意見もあった。 ・今後も引き続き、行政、就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所、学校等の関係者間で知恵を出し合い、サービスを利用する当事者が困らない方向を目指し、議論を継続していくことを確認した。 2 について <ul style="list-style-type: none"> 提起された2つの事例をもとに、グループに分かれて事例検討を行った。 事例 : 知的障がい者の定着支援と生活支援 事例 : ひとり暮らしの生活支援 ・1グループ6~7人、計4グループに分かれて実施。 ・事務局担当者が司会を務め、2つの事例をグループごとに検討。 ・終了後、グループの話し合いの要点を全体へフィードバックした。 3 について <ol style="list-style-type: none"> (1) 伊那市中山係長より <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月より、就労系サービスを使う場合であっても、支給決定に先立ってサービス等利用計画の提出が必須となる。各事業所においては、契約先行とならないよう、ご留意願います。 (2) ハローワーク伊那 大和氏より <ul style="list-style-type: none"> ・「平成26年度伊那地区障害者就職・雇用相談会」についてのお知らせがあった。 日時: 平成26年10月21日(火) 13:30~16:00 場所: 伊那市生涯学習センター(いなっせ)6階ホール | | | | | |
| ま と め | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域の『B型アセスメント』課題について、対処案が示された試案をもとに皆で検討し、議論を深めることができた。 ・2つの事例検討を通して、一般就労する障がい者の定着支援、生活支援のあり方を考えることができた。 | | | | | |
| 次 回 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月に開催予定。詳細については、後日お知らせする。 | | | | | |

26年度 自立支援協議会議事録

| | | | | | | |
|----------------------------|---|---------------------------------|------|---------|----|------------------------|
| 会議 | 部会名 | 第3回 就業支援 部会 | 参加者数 | 29 人 | 会場 | 福祉まちづくりセンター 2階 大会議室 |
| | 日時 | 26年 10月 24日(金) 14:00 ~ 16:00 | | | | |
| 主 題 マ | <p>1 就労支援事業所によるプレゼンテーション、自主商品展示・販売会</p> <p>2 『B型アセスメント』について</p> <p>3 県就労支援部会報告</p> <p>4 その他・諸連絡</p> | | | | | |
| 主 な 意 見 な ど | <p>1 について</p> <p>(1) 参加事業所より、各3分程度のプレゼンテーション。(14:15～14:45)</p> <p>(2) 自主商品展示・販売会の開催。(14:45～15:20)</p> <p>参加事業所は、次のとおり。(敬称略・順不同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊那市社会福祉協議会 障害者社会就労センター ゆめわーく (伊那市) ・伊那市社会福祉協議会 障害者社会就労センター さくらの家 (伊那市長谷) ・有限会社 プロス広栄福祉事業部 信州ころん (伊那市) ・長野県社会福祉事業団 伊那ゆいまーる (伊那市) ・駒ヶ根市障害者就労支援センター 伊南桜木園 (駒ヶ根市) ・長野県社会福祉事業団 西駒郷 わーく西駒 信州まめ匠 (駒ヶ根市) ・株式会社 煌めき ティユール (箕輪町) ・社会福祉法人 親愛の里 シンフォニー (宮田村) ・長野県社会福祉事業団 西駒郷 宮田支援事業部 わーく宮田 (宮田村) <p>展示・販売会は、大勢の方にご参加いただき、大変盛況であった。 「特定非営利法人 やればできる チャレンジセンター笑顔の時間」からも、紙面によるPRがあった。 各事業所の事業内容等、詳細については、直接各事業所までお問い合わせください。</p> <p>2 について(小澤部会長)</p> <p>特別支援学校高等部卒業者等に係る就労継続支援B型事業利用の取扱いについての情報提供。 ・高等部1年生から暫定支給決定を受けることができる。 在学中にアセスメントを行い、B型利用が適当と判断されれば卒業時からの利用が可能。 (ただし、児童相談所と精神保健医師の意見書が必要となる)</p> <p>3 について(きらりあ 北嶋)</p> <p>・県就労支援部会では、『B型アセスメント』問題の体制整備を行うため、圏域の進捗状況把握等を行っている。10/25に長野大学でアセスメント講習会があり参加予定である。次回、その様子も含め報告したい。 ・部会研修として、安曇総合病院における精神障がい者雇用の取り組みの様子を視察した。 定着率・出勤率ともに高く、相談支援とサポート体制をしっかりと組むことで継続雇用できる好事例と感じた。</p> <p>4 について</p> <p>(1) ハローワーク伊那より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成26年度伊那地区障害者就職・雇用相談会」について 10/21(火)に開催したところ、21社、求職者91名の参加があり、昨年度とほぼ同規模で開催できた。 ご協力に感謝するとともに、今後とも障がい者雇用へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。 (2) 西駒郷 わーく西駒 信州まめ匠 の求人について ・食品衛生の意識が高く、就労習慣のついている方で、興味のある方がいれば、ご一報ください。 (3) 上伊那圏域福祉フォーラムのお知らせ ・11/15(土) 13:30～16:30 中川文化センター にて開催。ぜひ多くの方のご参加をお願いします。 第1部:基調講演 第2部:パネルディスカッション。事業所による販売会も行われます。 | | | | | |
| ま と め | <p>・展示兼販売会は大変盛況であり、多くの方に福祉事業所の活動の一端を知っていただく機会となった。 また、事業所同士がお互いの実践や取り組みの様子を学び合う時間ともなった。 ・『B型アセスメント』や県就労支援部会の動向等について、情報共有を図ることができた。</p> | | | | | |
| 次 回 | <p>・12月に開催予定。詳細については、後日お知らせする。</p> | | | | | |

26年度 自立支援協議会議事録

| | | | | | | |
|----------------------------|---|---------------------------------|------|---------|----|------------|
| 会議 | 部会名 | 第4回 就業支援 部会 | 参加者数 | 23 人 | 会場 | 伊那市 保健センター |
| | 日時 | 26年 12月 16日(火) 15:15 ~ 16:55 | | | | |
| 主 テ ー マ | <ol style="list-style-type: none"> 1 事例検討 2 県就労支援部会報告 3 『B型アセスメント』について 4 その他 | | | | | |
| 主 な 意 見 な ど | <ol style="list-style-type: none"> 1 について 部会員から提起された事例をもとに、グループに分かれて事例検討を行った。 事例: 「一人暮らしに向けての支援」(精神障がいのある方の場合) ・1グループ5~6人、計4グループに分かれて実施。 ・グループごと、事例をもとに、これまでの支援経過や今後の支援の可能性等、自由に意見交換を行った。 ・終了後、各グループの話し合いの要点を全体へフィードバックした。 2 について(きらりあ 北嶋より) 11/25(火) 安曇野市において行われた県就労支援部会について、報告があった。 ・テーマ: 「精神障がい者の就労支援を考える」 ・北嶋より、"精神障がい者の職場定着支援"事例を提供し、皆で支援方法などの工夫を話し合った。 同じようなケースで悩んでいる支援者の苦労や思いを共有することができた。 ・長野障害者職業センターの主任カウンセラーの言葉が、印象的だった。 「やる気満々の人より、精神病院長期入院者で病状も落ち着き寛解状態の人の方が、長続きしやすい」 3 について(きらりあ 北嶋より) 『B型アセスメント』に関わる動向及び意見集約のお願い ・『B型アセスメント』の詳細は、現時点では未定。27年1月半ばに厚生労働省の見解が発表される予定。 ・「就労継続支援B型利用に係るアセスメント実践報告会」 日時: 平成27年2月5日(木) 13時~16時30分 場所: 松本市総合社会福祉センター 大会議室 厚生労働省 山科専門官による制度概要の説明が予定されている。圏域としての意見集約依頼があった。本日配布のアンケート用紙にご記入の上、1月9日(金)までにきらりあへご提出ください。 意見交換等 ・県教委では、就労移行支援事業所は障がい者のサービスであり、養護学校高等部生徒の利用にあたっては、児童相談所の許可が必要との考えもある模様。手続きのさらなる煩雑化、長期化が懸念される。 (伊那養護学校) アンケートに記入いただければ、声を届けたい。(きらりあ 北嶋) 4 について (1) 伊那養護学校より ・高等部3年生の職場実習(12月)の御礼と、卒業生37人の進路について、報告があった。 ・一般就労希望者は、2月早々にハローワーク、きらりあの協力を得ながら、企業との懇談会を予定。 ・福祉的就労希望者は、1月後半、学校を会場に支援会議を開き、今後についての情報共有を図る。 (2) 西駒郷より ・緩衝剤箱詰め作業が、諸事情で打ち切られ、当所を含む多くの事業所が仕事探しに苦慮している。 ・室内単純作業でよい仕事があればぜひ紹介を。複数事業所連携による共同受注等も検討したい。 | | | | | |
| ま と め | <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を通して、精神障がい者の一人暮らしに向けた支援のあり方を多角的に議論することができた。 ・県就労支援部会や『B型アセスメント』の動向等についての情報共有を図ることができた。 | | | | | |
| 次 回 | <ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、後日お知らせする。 | | | | | |

26年度 自立支援協議会議事録

| | | | | | | |
|----------------------------|---|--------------------------------|------|-----|----|---------------------------|
| 会議 | 部会名 | 第5回 就業支援 部会 | 参加者数 | 30人 | 会場 | 伊那市福祉まちづくりセンター 2階 大会議室 |
| | 日時 | 27年 2月 10日(火) 14:30 ~ 16:30 | | | | |
| 主 テ ー マ | <ol style="list-style-type: none"> 1 『就労継続支援B型に係るアセスメント実践報告会』(2月5日松本市)報告 2 事例検討 3 今年度の部会活動のまとめ 4 その他 | | | | | |
| 主 な 意 見 な ど | <ol style="list-style-type: none"> 1 について(きらりあ 北嶋より) 標記報告会において、厚生労働省 山科専門官より今後の国の方針等について概要説明があった。 ・『B型アセスメント』は、予定通り実施する(経過措置は26年度末で終了)。 ・基本的に、就労移行支援事業所でアセスメントを行うが、学校や本人が通える場所での『施設外支援』という形でアセスメントしてもよい。アセスメントは、就労移行支援事業所職員が行う。 ・あくまで就労能力のアセスメントが目的。B型利用を目的としたアセスメントではない。 ・近日中に厚生労働省より『マニュアル』が示される予定。など 標記報告会に参加した伊那養護学校担当教諭や、圏域内の就労移行支援事業所職員等からも、補足説明や率直な感想等が出された。 今後、圏域としてのアセスメント体制整備に向け、部会内に検討チームに設けて早急に議論を始めることで合意した。 2 について 部会員から提起された事例をもとに、グループに分かれて事例検討を行った。 事例:「医療機関への受診のすすめ～被害妄想と過去の出来事への執着等に苦しむ利用者の支援～」 ・1グループ7～8人、計4グループに分かれて実施。 ・事例提供者による事例概要の説明と質疑応答を行った後、各グループで自由に意見交換を行った。 ・最後に各グループの話し合いの要点を全体へフィードバックし、事例提供者より感想発表があった。 3 について(小沢部会長より) 今年度の活動の総括と来年度に向けての方向性について説明があった。 ・年5回開催。うち1回はセルフセンターの協力も得て、販売会を実施。事業所間のよい交流ができた。今後も継続していきたい。 ・事例検討では、今後、好事例の検討なども行っていけるとよい。 ・部会の中で、一般企業の方の困り感を検討する企業部会の開催を考えたが実現できなかった。来年度の課題としたい。 部会に初めて参加された方々の感想もお聴きしつつ、全員で今年度の活動の振り返りと来年度への展望について、建設的に話し合うことができた。 4 について (1) 『B型アセスメント検討会』(仮称)について(きらりあ 北嶋より) ・本部会は、今年度最終となるが、検討チームを早速立ち上げ、3月から議論を開始したい。 ・きらりあが事務局となり、速やかにメンバーの人選を行い、検討に入る準備を進めていく。 (2) 伊那養護学校より ・企業の方々による特別支援学校の作業学習等の見学会が今年度は実施できなかった。ぜひ、部会の力を借りながら、来年度は実現できるよう検討していただきたい。 | | | | | |
| ま と め | <ul style="list-style-type: none"> ・『B型アセスメント』の情報共有を図り、圏域として検討チームを立ち上げ議論していくことで合意できた。 ・事例検討を通して、支援のあり方をそれぞれの立場から多角的に議論することができた。 ・今年度のまとめと来年度の方向性を皆で確認することができた。 | | | | | |
| 次 回 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は5回の部会を開催してきた。多くみなさんのご参加、ありがとうございました。 ・来年度も引き続き積極的なご参加をよろしくお願ひいたします。 | | | | | |